

第 15 回米子・まちなか一箱古本市 出店の手引き

来たる 5 月 7 日(日)、今井書店錦町店の駐車場をお借りして、「第 15 回米子・まちなか一箱古本市」を開催します！ お客さんとの会話を楽しみながら本を売り、本をネタにした店主同士の世間話に浸りましょう。

常連店主のみなさん、いつもありがとうございます。前回の秋の市からあっという間に半年がたちました。が、本好きの皆さんのことですから、出品を待つ在庫（古本）が山をなしているはずです。どうぞふるってご参加ください。そして古本市未経験の方！ 部屋を占領している古本や漫画本を整理して、1 日限りの古本屋のオーナーになってみましょう。

- 日時：5 月 7 日（日）午前 10 時～午後 3 時頃
- 場所：今井書店錦町店駐車場（米子市錦町三丁目）
- 出店料無料！

【出店までの手順】

- ①出店申し込みの連絡をする。（下記参照）
- ②当日、売りたい本を箱に入れて持ってくる。
- ③自分で値段や値札を付けて並べる。
- ④お客さんとの会話を楽しみながら本を売る。

※箱（ダンボール・トランク・木箱等）、いす、敷物等は各自で準備をお願いします。

※出店者用駐車場は会場周辺に確保する予定です。

【出店申し込み】

以下の項目を[電子メール]又は[電話]でご連絡下さい。

- 1) 氏名
- 2) 携帯電話番号
- 3) 出店箱数
- 4) 屋号
- 5) アピール文（100 文字以内）※「特になし」でも構いません

■ 出店申し込み締め切り 5 月 5 日（金・祝）

【お問い合わせ・出店のお申し込み】

- 米子・まちなか一箱古本市（担当／八幡）
- 携帯： 090-8361-1843
E-Mail： yonago-hitohako@excite.co.jp

★出店をご検討中のみなさまへ

米子・まちなか一箱古本市へ関心をお寄せくださりありがとうございます。

- ・開催に関する詳細は、Facebook ページ等で随時情報提供いたします。
- ・出店料は無料です。
- ・申込書提出などという堅苦しい手続きはありませんが、実施日の1週間くらい前までに「屋号（+アピール文）」、「箱数」を登録していただきます。
※ちなみに、担当の八幡は「三つ目屋」で「2箱」です。

～準備の手順～

- 屋号を決める
 - ・・・店の名前を決めると”ぐっと”のめり込んでいきます。
- 売り物の準備
 - ・・・売る本を選ぶ（これが楽しい！）。
※知らぬ間に読み始め、大抵手元に残すことになっていきますが、...
- スリップを作る（新刊書に挟んである”しおり”のようなもの）
 - ・・・更にのめり込みます。セールストークと売り上げ管理に役に立ちます。
※売れた後も手元に残り、本の思い出になります。

～ワンポイントアドバイス～

- 雨対策（売り物用）
 - ・・・ビニールシート（とっさの対応）、ビニール袋（雨を避けつつ袋詰め）。
- 椅子
 - ・・・人数分は絶対必要、来客用を準備すると喜ばれます。
- 昼食
 - ・・・食事で不在の間によく売れる（店番は他店の店主に気軽に頼めます）。
- おつり
 - ・・・忘れがち。値付けを100円単位にしておくとも面倒が省けます。
- キャスター付旅行鞆
 - ・・・持ち運びが便利。ふたを開いて屋号の看板を置けばすぐ店開き。
- 出品の量
 - ・・・人数×2箱が目安。本は重い。
- 楽しみ方
 - ・・・古本は、店主その人を映す鏡。外見と内面のギャップが面白い。話してみるとまた違う。本をネタにした世間話は無限です。

以上思いつくままですが、参考にしてください。

古本をネタにゆる～い会話を楽しみましょう。みなさまの出店をお待ちしています。